

## 令和7年度 島根大学 秋季学位授与式 式辞

本日、ご卒業・修了を迎えられました5学部の卒業生計18名、大学院人間社会科学研究科の修了生修士課程4名、自然科学研究科の修了生博士前期課程8名、後期課程3名、論文博士1名の皆様、そして関係者の皆様、ご卒業・修了、おめでとうございます。島根大学の役員、教職員、そして、在学生を代表して心よりお祝い申し上げます。

皆さんは、それぞれの夢や想いを叶えるために島根大学で学ぶことを選ばれ、入学されました。在学中に新型コロナウイルス感染症への対応が取られていた方たちには、その期間中、修学や学生生活に大きな影響があったことと思います。しかし、その前後を通じて、皆さんが専門領域への興味・関心、そして、学びに対する強い意欲を持ち続け、日々努力を積み重ねることにより所定の教育課程を修められ、また with corona となつてからは徐々に本来の姿に戻ってきた大学生活を楽しまれ、本日ここに、学位を授与されますことを心よりお慶び申し上げます。

今回博士前期・後期課程を修了された留学生の皆さんは、母国から遠く離れた日本、島根、松江の地に来られて島根大学で学ばれ、それぞれご自身の夢を叶えるため、また学びの成果を母国の課題解決と発展に活かすため、懸命に勉強されました。それぞれユニークな研究を見事に論文にまとめられ学位を取得されたこと、その過程における皆さんの努力に心から敬意を表し、お祝いを申し上げます。

卒業生、修了生の皆さんは、在学中に指導を受けた教員、ともに人生を語り、悩みを相談し、勉学や正課外活動に切磋琢磨した友人、そして様々な場面でご支援頂いた地域の方々や、皆さんの成長を暖かく見守り、支え続けて下さったご家族はじめ、多くの方とご縁を得て、そのご支援、関わりの中で卒業、修了の日を迎えられました。これまでご支援頂いた方々に対する感謝の気持ちをこれからも忘れずに、新たな道を歩んでください。

さて、皆さんが大学、大学院で学んだ専門知識や技術は、皆さんのこれからの土台となることは間違いありません。一方で、皆さんが学ばれた過程で、試験に合格しても学びつくしたということはなく、論文をまとめても、その先に多くの課題が残されていることを実感されたと思います。学べば学ぶほど、研究すればするほど、さらに学ぶべきこと、研究すべきことがあることを知る、実感するこ

とが、大学での最も大切な学びの一つだと、私は考えます。

専門知識・技術は、加速度を増して日々新たになります。しかし、それでも私たちが知るべきことは、無限とっていいほど残されています。そもそも私たちは、自分がここにいることを実は説明できていません。私たちが存在する宇宙のエネルギーのうち、普通の物質で説明できるのはわずかに 5%以下に過ぎず、95%はダークマター・ダークエネルギーと名前は取りあえず付けられていますが、要するに何かわかっていません。さらに宇宙は universe ではなく multiverse、つまり無数の宇宙が存在することが理論上示されています。そのたった一つの宇宙の 95%以上が未知であれば、天動説を唱えていたころと今最先端と呼んでいる状況が、本質的にどれくらい違って、より進んでいると言えるのでしょうか？

宇宙の話から、今度は私の専門の解剖学で個人レベルのお話になりますが、皆さん一人一人の顔が皆違うのが当然であるように、実は骨や内臓や筋肉も全く同様に一人一人がすべて違います。医学生が解剖学実習でそれを体験・実感することは、将来臨床の現場で唯一無二の患者さんに向かう際の最も根本的な認識となります。私は医学生たちに、教科書には人類の誕生から絶滅に至るまでの全ての人間のうち、ただ 1 例が示してあるに過ぎず、全ての答えはお一人お一人のご遺体の中にあると、常々話していました。その一人一人が、一期一会の瞬間に、今私たちがそうしているように、目の前の皆さんの表情、身体の姿勢・動きを見て、聞いて、感じて、話し、考え、動くことができることがいかに奇跡的であるか、それをごく当たり前に実現している身体と心について、いまだに私たちは、本質的にほとんど説明できていません。

このように情報量は日々増していますが、最先端とは、百年前も今も、おそらく将来も、その時代の最先端に過ぎず、我々の知っていることは限られています。

どのような道に進むにしても、何が本当の正解かは誰も知りませんから、生涯にわたって「無知の知」を繰り返し思い起こし、日々謙虚に学び続けていってください。

これから生涯学び続ける際、混迷・不確実の時代といわれ、人間の文明が地球の限界を超えつつある今日、SDG s が掲げるような持続可能な地球・社会を実現するために、心に留めておくべき「六方良し」という考え方があります。江戸時代に全国で活躍した近江商人の理念として知られる「三方良し」は、「売り手良し」「買い手良し」「世間良し」として、売り手・自分だけの利益を追求するのではなく、買い手の利益、社会貢献をも大切にするという考え方でした。持続可能

な社会・生命環境としての地球の実現に向けた「六方良し」は、さらに3つ、「作り手良し」「地球良し」「未来良し」を加えるものです。直接・間接に関係するすべての人々に思いを巡らし、豊かな命を育む地球を将来の世代へ伝えていくために、「六方良し」を常に心に留めて、それぞれの道を進んでいってください。

今世界は、残念乍ら紛争や分断など混迷を深めています。そのような中、国内外を問わず、一人一人の間のコミュニケーションと、それを通じた相互理解が、平和で持続可能な世界を実現するための最も基本的で重要な基盤であることを再確認いたしましょう。

島根大学は75余年の歴史を刻み、68,000人余りの同窓生を輩出してまいりました。皆さんには、卒業・修了後も、島根の地で結ばれた同窓生、教職員、地域の皆様とのご「縁」を大切に、島根大学や島根県との関わりを持ち続けてください。島根大学には、東京、大阪、名古屋、福岡、広島等国内各地の同窓会の他、現時点で海外12カ国にも同窓会があります。是非、同窓会にご参画頂き、学部や年代を超えた島根大学のネットワークをご活用下さい。さらには、島根大学で学ばれた先輩として、後輩のために本学の更なる発展のためにご支援いただければ、大変有難く存じます。

皆さんの輝かしい前途を祝し、また、これまで皆さんの成長を大きな期待を持って支え見守って下さったご家族、関係者の方々へ改めてお祝い申し上げ、学位授与式の式辞と致します。

令和7年9月19日  
国立大学法人島根大学  
学長 大谷 浩